

目標量の設定に係るエビデンスレベルについて（案）

- ・ 食事摂取基準（2020年版）の策定方針において、目標量を設定している摂取基準に限ってエビデンスレベルを付すこととされた。
- ・ エビデンスレベルは、各疾患ガイドライン等で用いられているが、各疾患ガイドラインは予防・治療指針の策定を目的としているのに対し、食事摂取基準は摂取量の数値の設定を目的としている。このため、各疾患ガイドラインで用いられているエビデンスレベルの分類を食事摂取基準にそのまま適用することは困難である。
- ・ 食事摂取基準における数値の設定方法を踏まえ、目標量のエビデンスレベルを以下の分類により整理してはどうか。

表 目標量の設定に係るエビデンスレベル※

エビデンスレベル	数値の設定に用いられた研究論文等の種類と数
A1	複数（2つ以上）の介入研究又はコホート研究のメタ・アナリシスであり、かつ、そのうちの1つ以上が量反応関係メタ・アナリシスである場合
A2	複数（2つ以上）の介入研究若しくはコホート研究のメタ・アナリシスである場合又は1つの量反応関係メタ・アナリシスである場合
B	1つの介入研究のメタ・アナリシス又は1つのコホート研究のメタ・アナリシスである場合
C	複数（3つ以上）の介入研究又はコホート研究である場合
D	他の国の食事摂取基準又はそれに類似する基準である場合
E	その他

※ 複数のエビデンスレベルが該当する場合は上位のレベルとする。